

☆森のおはなし探検隊☆

『到津の森で昔あそび・夏』
お手玉、おはじき、竹とんぼ、
どんぐりコマ作りなどを行います。



- 開催日時：7月10日(日) 13:00~
- 開催場所：子どもホール
- 参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

★世界トラの日ガイド★

7月29日の「世界トラの日」にあわせ、
絶滅の危機に瀕しているトラの野生状況についてガイドします。

- 開催日時：7月29日(金)・30日(土) 14:30~14:45

★里山いきものがかり★

園で貸し出す虫かごと虫取りあみを持って、
郷土のもりエリアで生き物を探しませんか。
見つけた生き物は図鑑で調べ、オリジナル図鑑にまとめます。
(生き物は持ち帰れませんので、ご了承ください)



- 開催日時：7月9日(土) 12:30~14:30

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承ください。
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 7月号 2016年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」16年7月1日発行 通巻161号

動物たちに 7月22日(金)は、



二十四節気のうち一年でもっとも暑いと
される「大暑の日」にあたります。

動物たちにとっても、夏の暑さはつらいもの。

そこで、動物たちに今年も氷のプレゼントを
行い、ひと時の涼を演出します。

どんな反応を見せてくれるでしょうか？！

のプレゼント

- 開催日 7月22日(金) ※大暑の日
7月23日(土)・24日(日)
- 時間・動物 11:00~ ニホンザル
(各日) 12:15~ チンパンジー
14:00~ アライグマ (22日のみ)



- 氷について ニホンザルとチンパンジーには、中にくだものが入った氷柱と、何も入っていない氷柱をプレゼントします。
氷柱の最大サイズは、約25×25×50cm、重さ約25kgです。
アライグマにはクラッシュアイスを入れた容器に、果物をかくしてプレゼントします。



花暦 文月

梅雨が明けて夏の陽ざしがいっぱいになると、案外野山に花の姿が少なくなる。そんな頃フヨウ(芙蓉)が咲き始めます。庭園樹として中国から移入され、美女の代名詞「芙蓉の顔(カンバセ)」と呼ばれてきました。しかも美女も美女・艶麗でも気品高い乙女の趣です。一日花のはかなさが、なおさら人に心を惹きつけるのでしょうか。

ところがどっこい西日本ではいたる所で野生化し、環境の悪い土地でも柔らかな緑色の葉を茂らせ、大輪の花を咲かせています。我家近くの国道沿いのゲート下でも、毎年つんつるてん!!に刈り込まれたフヨウが、春には新芽をぐいぐい伸ばし、小さなきながら直径10cmはある薄紅の花をつけ、清らかでしかもゆったりした雰囲気は、近所の住人のファンも多く見られます。

芙蓉といえば酔芙蓉(スイフヨウ)だねと、言われる方も多いですね。朝白く咲いた花が、昼には薄紅色、夜には濃い紅色になってしまう。昼下がり、こんもり広がった樹形の大木に、白・薄紅・紅色の八重花が混じっていっぱい咲く姿は、誰もがその美しさにほうっと声をあげてしまいます。

フヨウの仲間にはムクゲ・ゼニアオイ・タチアオイ・ハイビスカスと、庭園・花壇に用いられていますが、背景には野山や海などの大自然が似合う素晴らしい花ばかりと思います。

園内では、南ゲート入口脇の階段からちょっと左を向いてみてください。

タブノキの木陰にスックと小さなフヨウが一人頑張っています。

文：花咲くおばさん

森のなかま・アカコンゴウインコ

新しい仲間

4月、到津の森公園に新たな仲間がやってきました。

アカコンゴウインコという、とても色鮮やかな大型のインコです。漢字で書くと「赤金剛鸚哥」。漢字の意味を調べてみると、「金剛」というのは、仏教用語で「最も堅い金属、またはダイヤモンド」を表すのだとか。戦艦や大きな仁王像(金剛力士像)の名称として使われることもあります。

それが転じて、「大きい」というイメージであてがわれているのでしょうか。また、「鸚」は「いん」または「おう」という読み方があり、インコ(鸚哥)とオウム(鸚鵡)には同じ漢字を用います。

「哥」には「うた」という読み方もあり、鳴き声に特徴のあるインコにはぴったりですね。

そんなアカコンゴウインコですが、実は絶滅が心配されている動物です。色鮮やかな見た目が人々を魅了してしまうからか、ペットにする目的での密猟も原因のひとつとされています。

日本の動物園にも、十分な数が飼育されているとは言えません。到津の森公園でも、このアカコンゴウインコの命を繋いでいくために、ヒナの誕生を目指しています。

人々を魅了する美しい鳥が、いつまでも人々と共に暮らしていけることを願いながら。



飼育展示係 福井 智太